

山 ゆ り

11 - 12 号 No382 2018 年 11 月 1 日

初号発行:1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 2-25-16 草野正昭

Tel/Fax:045-364-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : <http://yamayuri.d.dooo.jp/>



■ 9 月 16 日 : 奥多摩・御岳山

参加者 : 大野 大野 小野寺 遠藤 河又 曾根
神保 西村 細谷 松田 草野(11 名)

●今回の山行は、御岳山から鳩ノ巣へ下る尾根の途中、大檜峠のナラの大木を見たいということで計画したが、大檜峠にはナラの巨木は見当たらなかった。一本それらしい枯れた大きな木があったが確かではない。

御嶽駅からバスとケーブルを乗り継ぎの木はで御嶽神社の参道まで楽をする。山頂の御

嶽神社までの道は舗装と石段の連続で、けっこう嫌になる。文化財に指定されている茅葺屋根の御師の家の横から鳩の巣への山道に入る。所々登りはあるが、全体に緩やかな下りで楽ちん。途中、山道のわきの開けたところで昼食。昼食後間もなく大檜峠、だがナラの大木はみつからず、ここらあたりから林道工事で、本来のルートが通行禁止に、城山山頂経由に作られた代替ルートを行くことに。この日は湿度が高く風も無しで、一気に汗が噴き出す。大回りをさせられた気がしたがほどなく鳩ノ巣へ。この時期結構たくさんの秋の草花に出会えた。(K)

●今日は駅前からバスとケーブルで山頂へ、その後は3時間下るだけの高齢者向け楽々プランだ、と思っていたがやっぱり山ゆり。落とし穴がありました。後半、迂回コースになった城山は760Mでも、想定外の急登と急な下りが続きました。

天気は薄曇り、雨こそ降らないが、無風で滅茶蒸し暑い。拭いても拭いても汗が出る。タオルを忘れて、味方は飲み水とハンカチのみ。頂いた梨が美味しかった。



そんな中でも、秋の気配が。萩、秋海棠、トリカブト、ホトトギス、つる竜胆等が沢山見られ、アケビの実も落ちていて、茸も沢山。大きい、小さい、食べられそうなものも。色も白や紫、茶色、黄色等いろいろでした。

とても疲れて帰ったら、体重が 2K も減っていた。(松田雄二)



9/16 : 奥多摩 御岳山

●編笠山から権現岳に行きました

梅雨入り間近な6月2日天気が良さそうなので思い切って小淵沢駅からタクシーで観音平まで行き編笠山、青年小屋泊、権現岳、三ツ頭を経て甲斐小泉駅へと歩いてきました。

当日の天気は午後にはわか雨との予報で10時半に観音平をスタートした時は曇り空でいつ降ってくるか気になりながらの出発でした。

笹原のレンゲツツジのオレンジが色を添える中、雲海展望台、押手川と順調に歩きましたが、押手川から編笠まで標高差400メートル、コースタイム85分、樹林帯の中大きな岩を両手を使ってよじ登る所もあり、赤テープの間隔も大きく、あまり出会わない下山者に進む方向を示されながら歩き、空が見えいよいよ山頂かと思ってから岩ゴロの道を歩き13時半やっと山頂に着きました。

明日登る権現岳や赤岳、南アルプス、雲の上に頭を見せていた富士山を目にし降られることなく青年小屋に下りました。

翌朝6時20分小屋を出て権現岳を目指しました。途中の鎖を心配していましたが、足元はしっかりしていて安心して歩きました。

途中イワカガミ、ミツバオウレン、キバナノコマノツメ等の小さな花や鹿の姿に満足して下っていました。

八ヶ岳横断道路までは観音平まで戻る下山者もいたのですが、鐘掛松まで来ると小泉駅方面の標識はあるものの道がわからずウロウ

ロ、、、やっと赤いテープを見つけあまりはっきりしない踏み跡を進みましたが赤テープ、踏み跡がわからなくなり不安になった時前方に道路が見え何とか道路に出ると登山口の案内があり小荒間の信号でホッとしました。

小泉駅までも何の案内も見当たらず、尋ねる人にも会わず鳳凰三山を眺めながらひたすら車道を歩き踏切を渡り駅への案内を見たときはやっと一息付けました。

小海線の時間があつたので平山郁夫美術館によって17時頃家に帰りました。

山梨百名山55座目でした。(曾根弘子)

●岩手県普代村訪問記

6月29日から7月2日の4日間東北を旅した。最初の二日間は秋田駒ヶ岳へ高山植物を見に、後半の2日間は岩手県三陸海岸に。

初日は乳頭温泉郷の大釜温泉に泊り二日目は秋田駒ヶ岳、といってもバスで八合目までいけるので楽な登山だ。天候はいまいち、通常ならこの時期梅雨前線はまだ東北には上がってこないはずだが今年は異常続き秋田県側は雨模様。八合目行きのバスはほぼ満員、登山口付近からハクサンチドリ沢山咲いている。姿かたちが一株一株がこれほど見事なのは初めてだ。登るにしたがってガスが濃くなり、山頂に着いたときはついに雨が、早々に下ることに。雨が激しくなったので、予定のコマクサ群落コースはあきらめ、地元の方の

勧めで、八合目に周回するコースへ。途中にもうひとつコマクサの群落があり十分見ごたえがあった。二日目は水沢温泉泊り。

三日目は、盛岡に出て山田線で宮古へ。宮古から三陸鉄道北リアス線に乗り換え、普代下車。今回の目的地の普代村へ。

岩手県普代村は120年ほど前の1896年の明治三陸大津波で302人、80年前の1933年の昭和三陸大津波で137人が犠牲になった。2011年の東日本大震災は三陸から千葉の海岸まで大津波に襲われ沿岸の多くの市町村が壊滅的な被害を被った。ところがこの中で20mを超える津波に襲われながら奇跡的に死者も出さなかった村があった。それがこの岩手県普代村。この村をあの巨大津波から救ったのが、高さ15.5mの普代水門と同じく高さ15.5mの普代堤防である。私の今回の旅の目的はこの奇跡的と言える普代村を見ることにあった。

巨大津波から村を救った水門と堤防は、一人の村長の執念で造られた。戦後40年以上村長を務めた和村幸得さんだ。和村村長は自身が昭和8年の昭和三陸大津波を経験し、明治29年の明治三陸大津波の経験をその父の代から聞いて育った。彼は「2度あったことは、3度あってはならない」と村長として決意し、村内をくまなく歩き、過去の津波の痕跡を調査、最大級の津波から村を守るに15.5mの水門と堤防を造ることを決意した。1980年代前半、当初、県も国も堤防の高さは6mで十分と和村村長の提案を受け入れなかったが、過去の津波被害の実態を訴える和村村長の熱意の前に、県も国も折れた。そして1987年普代川河口に幅200m高さ15.5mの代水門が、漁港入口に海岸には同じく高さ15.5mの普代堤防が完成した。完成後は村内からも、こんな大きなものを造って実際役に立つのかなどの疑問を持つ人も少なからずいたようだ。



普代水門



津波は最大 23.6m



普代水門 海岸への道路



顕彰碑

二度あったことは、
三度あってはならない
元普代村長 和村 幸得

水門や防潮堤はただ高ければいいもんではない、津波の力はあまりにも巨大で、海岸でまともに受けたのでは破壊されてしまう。有名な田老の三重構造の防波堤も今回の津波で破壊された。普代水門は河口から300mほど内陸に入ったところに造ることで津波の力を弱め、水門を越した津波は河川敷の雑木林で弱められ集落には到達しなかった。もう一つの太田名部漁港の堤防は海に作るのではなく、陸の集落の入り口に造り、漁港の堤防や波消しブロック、漁港の建物などをあえて犠牲にして津波の力を弱めて津波の侵入を防いだ。和村村長の知恵の勝利でもある。

2011年3月11日午後3時過ぎ、あの東日本大震災の巨大津波が岩手県沿岸から千葉県沿岸までを襲った。特に岩手県から宮城県沿岸の市町村は壊滅的な被害を被った。普代村だけが奇跡的に無傷であった。

普代村の村民がこの事実を知った時、自分たちの命が、家屋が和村村長の立てた水門と堤防によって救われたことを知った。和村村長は既に他界、村議会は和村村長への恩とその功績を後世に伝えるべく「二度あったことは三度あってはならない」の顕彰碑を建て彼の功績を称えた。(K)

■ 11月案内； 11/18 (日) 多摩丘陵 唐木田の道 (W)

唐木田駅からからきだの道—長池公園—八王子別所の緑地—京王堀之内駅

- ・ 集合：朝9時 小田急線 唐木田駅
- ・ 持ち物：お弁当、雨具、ほか

■ 12月案内： 12/16 (日) 渋沢丘陵 震生湖から頭高山 303m ★

今年最後の山行は渋沢丘陵です。汁物を作る予定です、ぜひ参加ください。

- ・ 集合：朝8時30分 小田急線 秦野駅
- ・ 持ち物：お弁当、雨具、カップ (汁物を作る予定です)

■ 例会の予定 県民活動サポートセンター 9F 夕方5時から

- ・ 11月20(火)：11月例会
- ・ 12月18日(火)：12月例会

あとがき

・第四次安倍内閣が発足した。閣僚の顔ぶれは安倍首相以下ほぼ全員が改憲右翼団体・日本会議メンバーだ。全員野球を目指すそうだがライトばかりでセンターやレフトがない。最初に登板した柴山大臣、教育勅語使える発言の初球大暴投、安倍監督は交代させる気配なし。ほかにも疑惑で辞任した甘利や稲田といったお友達を入閣させた。最初から閉店セール内閣だ。

・9/30 投票の沖縄知事選挙で玉城デニー氏が当選した。玉城さん勝利の最大の意義は亡くなった前知事翁長さんの「辺野古に新基地は作らせない」ことを公約にして勝ったことである。それも対立候補が現政権のなりふり構わぬ支援

を受けての勝利で、39万票を超える沖縄県知事選の歴史上最高得票での大勝利だ。

・辺野古の争点を隠して辺野古推進派が勝った名護市長選挙では「選挙結果が全て」と語ったスガ官房長官は知事選結果に「辺野古は予定通り推進」と、選挙結果が全てなのなら辺野古は中止がスジであろう。

・政府がレジ袋の有料化を検討しているそう。今頃何って感じだ。それよりこの6月にG7首脳会議が合意した、海洋に廃棄されてる年間800万トンのプラゴミ対策への文書に日本が署名を拒否していることの方が問題だ。

- ・ 小鳥来るそっと買ひたるパンの耳 (KM)